

幸手市立長倉小学校 学力保障グランドデザイン

学校教育目標

すすんで勉強する子
心豊かで思いやりのある子
健康でねばり強い子

学校研修課題

【授業時数特例校】

地域と連携し、のびのびと子どもの心と体を育もう

本年度の重点

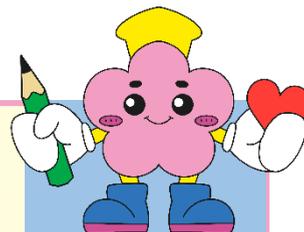
全教職員が全児童の担任

- ・学年任せにせず、教職員全員でかかわり、力をつける授業の創造
- ・創立50周年の伝統と誇りの具現化
- ・子どもたちの力を信じて進む教育活動の実施
- ・学力向上
- ・非認知能力の育成・授業の充実・心の教育の充実

目標達成の指針

- 1 全国学力・学習状況調査 正答率
- 2 埼玉県学力・学習状況調査 学力が伸びた児童の割合
- 3 幸手市統一学力調査 平均到達スコア
- 4 確認テスト 児童一人一人の正答率
- 5 家庭学習 学年の目標時間を達成した児童の割合 90%
- 6 学校に来るのが楽しい児童の割合 100%

たくましい子



学校の共通行動

❖ 授業で真剣勝負

幸手市スタンダード授業VwithGIGAに沿った授業展開について共通理解し、徹底する。そして日々授業改善を行う。

❖ 徹底指導

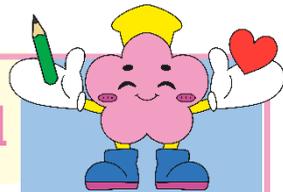
授業におけるきめ細やかな指導とともに、宿題の個別化を実施し、個に応じた指導を実施する。

❖ 授業規律

繰り返し、できるまでを合言葉に、丁寧な指導を実施する。

❖ 言語活動の充実

outputの場面を意図的に設定し、学んだことを表現する楽しさ、喜びを感じられる活動を実施する。



授業外での取組

❖ 業前の時間を活用した学習の定着

各種シートを計画的に活用し、学びを定着できるように時間を確保する。(木) (金)
読書の時間を確保し、読むことについての力をつける時間とする。(月)

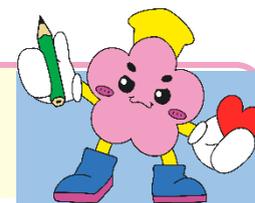
❖ 休業中の取組

長期休業中は親子読書を推奨、設定する。
休業中の学び方について、一人一人の計画を支援し、何をどのように学ぶのかを確認し、見届ける。

❖ よむよむシートの活用

よむよむシートなどの置き場所をを児童が手に取りやすい場所にし、課題終了時や休み時間などに手軽に取り組めるようにする。終了枚数によって認定証を授与する。

確かな授業実践



❖ 教科担任制の導入

教科担任制を一部導入することにより、教材研究を深め、教職員の専門性を高められるようにする。

❖ 児童理解を土台にした教材研究の充実

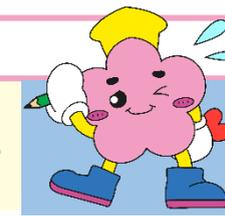
個別最適化な学びの研究、個に応じた指導の充実を図るため、学年で教材研究する時間を確保する。

❖ 非認知能力を鍛える授業の工夫

結果を予測したり、学習の予定を見通したりする活動を授業に設置することを徹底して、自分の学び方を見つけられるよう支援する。

❖ 学びあう教職員

キャリア別研修を実施する中で、教職員の横のつながり、縦のつながりを活用して学校文化を伝承していく。



家庭・学校間連携

❖ 家庭学習の習慣化

家庭学習共通理解事項を検討し、学校と家庭で共通行動がとれるよう、協力体制を強化する。
効果的な家庭学習についての研究を推進する。

❖ タブレットの活用

宿題の提出、連絡ツールとしての活用を常時行い、将来的には保護者とのつながりをより深められるようにする。(教育相談的な対応を含めていく。)

❖ 幼保小中高の連携

地の利を生かして連携を推進する。子ども同士のかかわり、教職員同士のかかわりができる場を意図的に設定して、学びの連続性を補完する。